



2024年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月14日

上場会社名 株式会社歯愛メディカル 上場取引所 東
コード番号 3540 URL <https://ci-medical.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清水 清人
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 三好 誠治 TEL 076-278-8802
四半期報告書提出予定日 2024年5月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第1四半期の連結業績（2024年1月1日～2024年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第1四半期	11,946	8.6	407	△48.2	407	△52.2	247	△52.5
2023年12月期第1四半期	10,999	5.6	786	△39.3	851	△35.1	521	△40.0

(注) 包括利益 2024年12月期第1四半期 258百万円 (△51.5%) 2023年12月期第1四半期 532百万円 (△37.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第1四半期	24.76	—
2023年12月期第1四半期	52.10	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、潜在株式がないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第1四半期	42,045	20,145	47.7
2023年12月期	41,506	20,139	48.3

(参考) 自己資本 2024年12月期第1四半期 20,061百万円 2023年12月期 20,058百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	0.00	—	25.22	25.22
2024年12月期	—	—	—	—	—
2024年12月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定です。

3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	23,661	6.6	1,029	△41.8	1,075	△44.9	657	△46.4	65.73
通期	50,000	9.6	3,528	18.0	3,620	9.9	2,447	17.5	244.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期1Q	10,000,000株	2023年12月期	10,000,000株
② 期末自己株式数	2024年12月期1Q	165株	2023年12月期	165株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年12月期1Q	9,999,835株	2023年12月期1Q	9,999,858株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報、および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信（添付資料）3ページの「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の世界経済への影響が縮小し、経済活動は感染症拡大前とほぼ同水準に戻り正常化へ向かっていますが、エネルギー価格や原材料価格の高止まりの影響、また急激な為替変動などにより、依然として不安定な状況が続いております。

このような経済状況の中、歯科関連業界におきましては、歯科医療費が引き続き増加傾向にあるなど、国内歯科関連業界全体の事業環境は緩やかな回復が見られるものの、急激な円安などの影響により先行きが不透明な状況が続いております。こうした中でも、歯科治療領域でのデンタルソリューション関連装置等がマーケットを牽引することにより、歯科機器・用品マーケットの増加傾向は続く見通しです。

当社グループにつきましては主力の歯科医院向け通信販売事業を中心に新商品の販売及び個人医院・総合病院等の医科業界及び動物病院業界への参入拡大を引き続き進めるとともに、歯科医院及び動物病院等へ大型医療機器（デジタルレントゲン医療機器等）を販売しており、当社主催のデンタルショーや新機種投入等の効果もあり、確実に実績を積み重ねております。その一方で利益面では、円安基調や原材料価格の高騰の影響による商品調達価格上昇の影響が続いておりますが、昨年5月と11月に歯科通販総合カタログを発刊し、価格改定により収益改善を図っております。また、歯科以外の通販事業におきましても、順次価格改定を実施しております。

その他の事業については、CAD/CAM歯科技工関連機器・システム販売事業及びCAD/CAM歯科技工物製作事業において2022年4月のCAD/CAMインレーの保険適用の拡大および2022年度に子会社化した歯科技工所3社のM&A効果により、経営成績は堅調に推移いたしました。歯科医院等の医療機関取引先向け電力小売取次事業「C i でんき」におきましても、電力市場価格高騰の影響を当社で負担していることの影響を受けており前第1四半期会計期間では赤字となっておりますが、お取引条件の見直し及び事業経費削減等の施策により、前第2四半期会計期間より黒字に転じ、収益は回復基調となっております。

また、昨年10月2日に竣工した新本社ロジスティクスセンターにおいて昨年9月よりテスト入出荷を開始したことから前第3四半期会計期間より同センターに係る減価償却が開始し、同センターの立ち上げに想定以上に時間を要した上、令和6年能登半島地震の影響もあり同センターへの完全稼働が予定より遅れ、その間旧センターと並行稼働となりコスト増となったこと、またロジスティクスセンター及び事業企画部門等での人員強化に伴う人件費増加等により、販売費及び一般管理費が増加しております。なお、3月末にて同センターへの完全移転が完了し、今後は大幅に増強された商品保管・出荷能力、低コストオペレーション能力を十分に活用していく想定です。

以上のような背景のもと、当第1四半期連結累計期間における売上高は119億46百万円（前年同期比8.6%増）、営業利益は4億7百万円（同48.2%減）、経常利益は4億7百万円（同52.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億47百万円（同52.5%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

①流動資産

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ1億33百万円増加(0.7%増)し179億82百万円となりました。これは主として、受取手形及び売掛金が2億50百万円、商品及び製品が70百万円、未収入金が2億52百万円増加したものの、現金及び預金が4億94百万円減少したこと等によるものであります。

②固定資産

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ4億5百万円増加(1.7%増)し240億63百万円となりました。これは主として、土地が15億95百万円増加したものの、建設仮勘定が6億80百万円、機械装置及び運搬具が3億14百万円減少したこと等によるものであります。

③流動負債

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ5億40百万円増加(2.6%増)し214億10百万円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金が3億30百万円、未払金が3億30百万円増加したものの、未払法人税等が2億36百万円減少したこと等によるものであります。

④固定負債

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ8百万円減少(1.7%減)し

4億89百万円となりました。これは主として、長期借入金が8百万円減少したこと等によるものであります。

⑤純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ6百万円増加(0.0%増)し201億45百万円となりました。これは主として、剰余金の配当により2億52百万円減少したものの親会社株主に帰属する四半期純利益2億47百万円を計上したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2024年2月13日に公表しました業績予想に変更はありません。

2024年5月9日付適時開示「株式会社ニッセンホールディングスの株式取得（子会社化）に関するお知らせ」の通り、2024年7月1日付で同社株式を取得することにより、同社は当社の連結子会社となる見込みです。同社株式取得が当社の2024年12月期連結業績に与える影響につきましては、現在精査中です。また、公表すべき事項が生じた場合には速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,698	1,204
受取手形及び売掛金	3,289	3,539
有価証券	106	105
商品及び製品	8,563	8,634
原材料及び貯蔵品	24	30
前渡金	709	692
未収入金	3,405	3,658
その他	76	145
貸倒引当金	△26	△28
流動資産合計	17,848	17,982
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	8,402	8,309
機械装置及び運搬具 (純額)	10,413	10,099
土地	586	2,181
建設仮勘定	685	5
その他 (純額)	382	372
有形固定資産合計	20,470	20,967
無形固定資産		
ソフトウェア	1,156	1,132
のれん	546	528
その他	93	29
無形固定資産合計	1,796	1,690
投資その他の資産		
投資有価証券	1,035	1,037
繰延税金資産	276	286
その他	130	131
貸倒引当金	△50	△51
投資その他の資産合計	1,391	1,404
固定資産合計	23,657	24,063
資産合計	41,506	42,045

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,726	2,056
短期借入金	17,100	17,100
1年内返済予定の長期借入金	29	29
未払法人税等	382	146
賞与引当金	31	63
未払金	1,305	1,635
その他	294	378
流動負債合計	20,869	21,410
固定負債		
長期借入金	64	56
預り保証金	415	415
その他	17	17
固定負債合計	498	489
負債合計	21,367	21,900
純資産の部		
株主資本		
資本金	10	10
利益剰余金	20,079	20,074
自己株式	△0	△0
株主資本合計	20,088	20,084
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△30	△22
その他の包括利益累計額合計	△30	△22
非支配株主持分	80	83
純資産合計	20,139	20,145
負債純資産合計	41,506	42,045

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
売上高	10,999	11,946
売上原価	8,146	8,914
売上総利益	2,852	3,031
販売費及び一般管理費	2,066	2,624
営業利益	786	407
営業外収益		
受取利息及び配当金	7	9
貸貸収入	6	5
デリバティブ評価益	67	—
その他	17	12
営業外収益合計	99	28
営業外費用		
支払利息	2	6
為替差損	27	11
持分法による投資損失	—	9
その他	3	1
営業外費用合計	33	29
経常利益	851	407
特別利益		
固定資産売却益	0	6
特別利益合計	0	6
特別損失		
固定資産除売却損	—	3
投資有価証券償還損	37	17
特別損失合計	37	20
税金等調整前四半期純利益	814	393
法人税、住民税及び事業税	273	157
法人税等調整額	24	△14
法人税等合計	297	143
四半期純利益	516	250
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△4	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	521	247

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益	516	250
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15	8
その他の包括利益合計	15	8
四半期包括利益	532	258
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	536	255
非支配株主に係る四半期包括利益	△4	2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、主に歯科関連商品を扱う通信販売事業を中心とした事業活動を展開しておりますが、事業セグメントを集約した結果、報告すべきセグメントは通信販売事業のみであるため記載を省略しております。

(重要な後発事象)

取得による企業結合

(株式会社ニッセンホールディングスの取得)

当社は2024年5月9日開催の取締役会において株式会社ニッセンホールディングスの株式を取得し子会社化することについて決議し、同日付で株式譲渡契約書を締結しております。2024年7月1日付で株式を取得予定です。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及び事業の内容

被取得企業の名称 株式会社ニッセンホールディングス

事業の内容

- ①ニッセングループ成長戦略の立案
- ②ニッセングループポートフォリオの設計とM&A等による新規事業開発
- ③ニッセングループ経営執行の監督

(2) 企業結合を行った主な理由

当社グループは、当社及び連結子会社7社等により構成されており、歯科医院や歯科技工所を中心に、各種医療機関への通信販売等を主たる業務としております。経営理念である、「先生とその患者さんに喜ばれたい。更に社員、取引先に喜んでもらえる会社になりたい。」という考えの下、デンタルケア製品の企画・販売を中心にさまざまな事業を展開しております。

株式会社ニッセンホールディングスは、幅広い年齢層の女性顧客を全国に有しており、アパレルをはじめとした女性が必要としている商品を取り扱っておられ、「想像以上の「あったらいいな」を。期待以上の「ちょっといいな」を。」をミッションとし、定番品から顧客のニッチなニーズを汲み取った商品開発まで手掛けています。当社が取引している歯科医院をはじめとした医療機関では圧倒的に女性医療従事者が多いため、当社が持つ女性医療従事者へアクセスできる環境と同社の持つ商品開発力を合わせることで、女性の持つ潜在ニーズに対応した事業を協働で展開でき、両社の企業価値の向上に資すると判断し、株式を取得することを決議いたしました。

(3) 企業結合日

2024年7月1日（株式取得予定日）

(4) 企業結合の法的形式

株式取得

(5) 結合後企業の名称

変更ありません。

(6) 取得する議決権比率

100%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得することによるものであります。

2. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	(現金)	4,100百万円
取得の原価		4,100百万円

3. 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー費用等 99百万円（概算見込額）

4. 発生するのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1) 発生するのれん

発生するのれんにつきましては、現在精査中です。

(2) 発生原因

発生原因につきましては、現在精査中です。

(3) 償却方法及び償却期間

償却方法及び償却期間につきましては、現在精査中です。